

会員の声



「もう七十四歳」

宮城県登米市在住
菅 原 賢昭
(昭和47年農学科卒)

在学中は、先生方や学友に恵まれ、多くのことを学ばせていただきました。山形や鶴岡での時間はあつという間に過ぎていきました。研究室では、後藤岩三郎先生、富樫二郎先生、齋藤澄子先生にご指導していただきました。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

卒業後は、中学校や高校の理科の非常勤講師として三年ほど勤務しました。そ

うか、自動車道を走つても、新幹線に乗つても、車窓の田園風景が変わっている。特に春代掻き後の水張は区画が大きく、まるで湖のようである。そして秋には、稗が伸び放題・平地の耕作放棄地が目立つ。労働集約的農業から大規模経営に転換したが、集落営農型の法人化・スマート農業が農業振興の終着駅ではないと言っているのだ。

今、秋田県では圃場整備事業、中間管理事業そして園芸メガ団地の三位一体で劇的に農業生産を拡大している。100 ha規

の後、宮城県公立高校の教諭(「農業」として採用されました。初任校は農業高校でしたが、数年後には、「学科再編」の波が押し寄せ、「農業科」や「生活科」は縮小され、代わりに「普通科」の割合が大きくなっています。

私が「理科」の免許を持つているということで、担当科目は理科中心となっていました。最初の異動先は工業高校でした。

最終赴任校は農業・林業関連学科が再編され、「総合学科」が新たに設置された高校でした。

その総合学科の選択科目の中に「生物活用」という農業科目があり、理科科目の他にそれも担当しました。「農業教科免許」がここで復活しました。授業の一例をあげれば、作物を圃場で栽培管理や収穫をし、さらに食品加工をするという内容でした。ジャガイモ、サツマイモ、トマト、ピーマン、ハクサイ、ダイズなどの栽培や収穫したハクサイを漬け物にしてキムチを作ったり、豆腐を作つたりと、生徒たち



と一緒に楽しい時間を過ごしました。

私の卒業論文のテーマは「ハクサイ軟腐病の品種間差異」でした。「生物活用」で、ハクサイと向き合ったとき、鶴岡の懐かしさが浮かんできたことを覚えています。

早いもので、もう七十四になりました。

定年退職後は、親から受け継いだ農地を耕し、稻作や自家消費用の野菜栽培に取り組んでいます。また、地域においては様々な役割を与えられて、少し忙しく暮らしておりますが、ハクサイを栽培し、キムチの漬け物作りは毎年欠かさないようにながら、今を過ごしています。

終わりに、山形大学農学部の益々のご発展と会員の皆様のご健康、ご活躍をお祈り申し上げます。



2023農ゼミの会（松島）

JA庄内みどりは、自然の恵みと人ととのつながりを大切に農と暮らしの新たな創造によりみどり豊かな地域社会を目指します。

庄内みどり農業協同組合

代表理事組合長 田村 久義

〒998-8510

山形県酒田市曙町一丁目1番地

TEL 0234-26-5500

FAX 0234-26-5562

「JA産直いちば・あんべみれ」 <https://ja-store.com>



株式会社
長南牛舗
明治四十年創業



【主な取扱い商品】

- ・山形牛・米沢牛・国産牛・輸入牛・庄内産豚(桜美豚)・輸入ポーク・国産鶏
- ・銘柄鶏・輸入鶏・ラム類等・自社ハム類・メーカー哈ム類・贈答用みそ漬
- ・粕漬・オードブル・折詰・弁当・イベント・催事用機器食材

鶴岡の老舗 肉の長南

山形県鶴岡市日吉町9-27

TEL 0235-22-0143 FAX 0235-23-2424

長南 雄太(6代目) (平成28年安全農産物生産学コース卒業)

